

とよ風

庄原赤十字病院
広報誌

vol.63

2019.5月



【特集】今年も31名の新しい仲間が増えました!

新任医師・新入職員紹介

[TOPICS]

新入職員代表あいさつ

院内緑化推進プロジェクト

院内調査隊

【ココからつながるインターネットの世界】

糖尿病・腎臓病センター開設

【特集】2019年新任医師のご紹介



循環器内科 部長
きのした みらい
木下 未来

循環器内科は主に心臓と血管を診る内科です。そして心臓と血管を元気に保つには、高血圧、糖尿病、高脂血症といったいわゆる生活習慣病の予防・治療が大切になります。是非皆さまの健康づくりのお手伝いをさせていただければと思います。



消化器内科 部長
たきがわ ひでひこ
瀧川 英彦

庄原の医療に貢献できるよう全力を尽くして参ります。よろしくお願い致します。



腎臓内科 部長
ほんだ ゆみ
本田 由美

2年前から広島に転居し、呉共済病院から赴任してきました。糖尿病・腎臓病センターが開設された病院の皆さまの意識の高さを感じました。これからも一層精進して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



泌尿器科 副部長
まえはら たかのり
前原 貴典

この度4月より参りました前原と申します。広島県福山市出身です。3月までは岡山にて働いておりました。泌尿器科医として、ささやかながら地域の皆さまのお役に立てればと思っております。よろしくお願い致します。



皮膚科 部長
よしが てつろう
吉賀 哲郎

備北地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



循環器内科医師
しまじり ひろと
島尻 寛人

慣れないことも多々ありますが、庄原の地域医療に貢献できるよう精進したいと思います。自分の受けたい医療を提供できるよう頑張ります。



内科医師
ふじい くみこ
藤井 久美子

4月から赴任しました内科の藤井久美子と申します。出身は福山市で、出身大学は広島大学です。庄原市は自然豊かで地域の皆さまもとても温かい方が多く、庄原市で医師として勤務できることを嬉しく思います。日々精進して参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



内科医師
ほんだ きよまさ
本田 清昌

庄原で生まれて庄原で育ちました。気軽に声をかけてください。患者さまと手をとりあい故郷の発展のため最良の医療を目指して頑張っていく所存です。よろしくお願い致します。



外科医師
ふじた しゅうと
藤田 脩斗

県北の地域医療・救急医療に少しでも貢献できるよう一所懸命頑張ります。よろしくお願いします。



4月から新しく
勤務することになりました。
私たちをよろしくお願いします。



▶基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。



▶患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。



ハートラッパ

退任医師

皮膚科 部長	堀 郁子
消化器内科部長	西山 宗希
腎臓内科副部長	若本 晃希
循環器内科副部長	新田 和宏
内科医師	網岡 慶
内科医師	鳴戸 謙輔
循環器内科医師	板倉 文乃
内科医師	脇本 旭
外科医師	三島 誠人



新入職員代表あいさつ



看護師

岡田 恵美

各地で桜の便りが聞かれるようになった今日この頃、(新元号の発表と共に)本日より庄原赤十字病院の一員となれる事をとても光栄に思っております。また、看護師としての道を歩み始めることに対して新入看護師一同、身の引き締まる思いです。

現在、社会の複雑な環境の変化とともに、医療現場も変化を求められており、看護師も日々求められる知識や技術が多様化しています。

さらには、庄原市の高齢化率の増加に伴う様々な患者さまへの対応、地域と結びついた医療サービスの拡充、また、近年増加している大規模災害への救護活動の充実などと、課せられた課題を考えると重責だと感じることもあります。

しかし、どんな時も赤十字の原点である、人道、博愛、奉仕の精神を胸に、心のこもった温かい看護を、根拠をもとに患者さまや地域へ提供できるよう、日々精進する所存です。

基礎的な勉学を積んだとはいって、実践での看護にはまだまだ不安を感じておりますが、一日も早く戦力となれるよう努力をして参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいいたします。

以上私たち新入看護師の決意と覚悟の一端を申し述べ、簡単ではあります

が、挨拶とさせていただきます。

平成31年4月1日



新入職員一同 よろしくお願いします！

就任のあいさつ

副院長 鎌田 耕治

平成31年4月1日付で副院長を拝命いたしました。平成15年4月から現在まで16年間、後期研修医の平成6年から9年の3年を含めると19年間、人生の1/3以上、医師として7割以上を庄原でお世話になったことになります。庄原赤十字病院が私を医師として育ってくれた場所であるといつても過言ではありません。診察手技はもちろんのこと、腹部エコー、上下部内視鏡、ERCP、経皮的穿刺、カテーテル手技など、医師として必要なことを一から教えていただきました。若い時代から今まで、関わっていただいたスタッフの方々に感謝いたします。



平成15年に第二内科副部長として赴任した当時は、大学病院で肝疾患を専門としていたこともあり、備北地域の肝疾患診療に関しては、市中病院には負けないという思いで従事し、最新の検査・治療技術を提供することに努力してきました。また当時から当院は若手医師から人気の病院でしたが、内科、消化器内科系の指導施設に認定されていませんでした。しかし、現在では内科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会などの指導施設になることができました。

副院長の役職は私にとって重責ですが、初心を忘れず、庄原赤十字病院のために、備北地域の人のために少しでも貢献できればと考えていますし、引き続き患者目線の医療を目指して頑張っていきたいと思います。



みよし すっご～い！めっちゃ便利♪これでスマホの通信量を減らさずにインターネットし放題ね☆

なごっちゃん ただし、あくまでも君は仕事しに来てるんだからね。そのところ忘れないように！

みよし (わ・わ・わ)♪



*Wi-Fiとは、無線で通信する端末(PC・テレビ・スマホ・ゲーム機など)がお互いに問題なく接続可能になる方式の名称です。

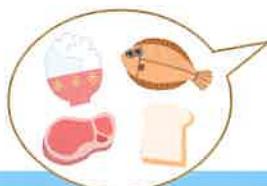
糖尿病・腎臓病センター

4月1日開設

「糖尿病・腎臓病センター」は、糖尿病が進行すると腎臓病が悪化するケースが多く、糖尿病内科と腎臓病内科を集約し、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師や管理栄養士が常駐して相談に応じる診療体制を強化する目的で開設されました。

【診察日】

- 糖尿病内科 月・木
- 腎臓内科 火・水



機能移転しました！



3月末に地域医療連携室が
②へ、入退院支援センターが
③へ移転しました。地域医療連携室にはこれまで通り患者相談窓口を設け、相談員も常駐しています。

- ①糖尿病・腎臓病センター
- ②地域医療連携室
- ③入退院支援センター